

# あなたの人生にとって、「同窓会」とは、どんな意味があるのでしょうか。—会員の声を集めました—

(声の文章と写真は関連していません。)



学生時代行動を共にしていた仲間と同窓会で会うと励まされ、癒され、元気がもらえます。



年齢を重ねて開かれる同窓会。来し方行く末をちゃんと語り合える場です。



同窓会、同期生会は日々のいろいろな役目からも離れ解放された自分に戻ることができる貴重な時間だと思います。

その当時のつながりを再確認する場になっています。また新しいつながりができるのも同窓会のよさです。



人とのつながりを面倒くさがるようですが、やっぱりつながりを大切にしていけない気持ちになったんです。同窓会を大切にしたいです。



(県外在住者より) 故郷に出会える刻(とき)。前へ進み続ける勇気を授かる空間です。



## 大学生生活と「同窓会」



教育学部が企画する「面接道場」とか「教師力パワーアップセミナー」などに、経験豊富な先輩同窓会員が指導に加わり、就活の応援となっています。その他、様々な場所、場面で、学生の皆さんの体験活動の支援を行っています。

「教員を目指す」を応援

研究・部活動・社会的活動などで、学部から推せられた学生に「奨励金」を差しています。

学生に「奨励金」



ほっと一息カフェ

学生向けに原則毎月第4火曜日午後1時半～4時、事務局で「ほっと一息カフェ」をOPENしています。

今年から先輩が勤める学校を訪問する活動を始めました。(P4参照)

先輩先生! こんにちは

「同窓会」はこんな活動をしています



「同窓会誌」(年1回)は、70号を数え、全国でも希少な歴史と伝統を誇る機関誌です。「Leaf@同窓会」(年2回)の発行と共に、在学生(準会員)、卒業・修了生(正会員)にお届けしています。ホームページでも、情報発信し、情報も更新に努めています。

広報誌を発行



「ホームカミングデー」は、年1回、卒業・修了生に、「母校を訪問しませんか」とお誘いし、在学生や卒業・修了生の教育活動や社会的活動を発表したり、情報交換する場となっています。近年は、終了後に、懇親交流会も開いています。

毎年「ホームカミングデー」を開催



2020年11月に新名簿を発行予定。注文制で、希望する会員に限定で提供しています。

「同窓会名簿」を発行



同窓会  
その他の集まり  
に助成金

会員として同期生会などを開くときは、参加数に応じた助成を行っています。(5,000円～2万円)



同窓会支部活動を支援

卒業・修了後は、県内や県外にある20余の「同窓会支部」の活動に対して情報提供や支援をしています。



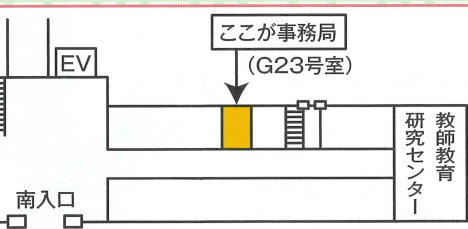
母校や  
母校の教員を  
応援

母校教育学部の先生方の研究や教育活動を応援し、毎年1名の先生に「教育振興奨励賞」を差しています。また、10年に1度程度、母校を支援する寄付をさせていただいています。

## 同窓会事務局本部

事務局(室)は、学部棟G23号室です。毎週火・金曜日の午後は事務局員が駐在。原則毎月第4火曜日は「カフェ」の日です。(掲示等で確認ください)

事務局のメール、電話(留守電、FAX)、ホームページをご利用下さい。在学生も卒業・修了生も気楽に利用、お立寄りください。



「同窓会」を利用し、同窓会活動を楽しんでください。近年の「同窓会誌」にも、同窓会活動やその報告・声が、たくさん掲載されています。ご参照ください。

新企画

「こんにちは、先輩先生!」(第1回)

# 観て、聴いて、話して 大いに魅了され

今年度の新企画。学生のみなさんが教育学部の先輩先生が所属する学校等を訪問し、授業参観や協議をととして「学校の魅力」を感じてもらおうというもの。今回は松江市立中央小学校を訪問。笑顔で迎えてくださった河井克典校長先生の講話や多久和友紀恵先生の授業参観、全校活動の見学から、多くの刺激と学びをいただきました。



### 参加学生の感想 岩田美月(音楽教育専攻4回生)



私は音楽専攻生で小学校教諭を目指しているため、小学校の音楽の授業を実際に見てみたいと思い、参加させていただきました。歌唱やリズムを通して楽しく活動し、お互いの表現を認め合っている子どもたちの姿を見て、音楽の魅力を改めて実感しました。また、こうした子どもたちの姿は、教材の工夫や教師の声かけがあるからこそ、より引き出されるものだと思います。今回の経験を通して、私の目指す教師像がより明確なものとなりました。

### 河井校長先生のコメント

今回の訪問では、教育や教職について先輩後輩だからこそその忌憚のない話をするのができ有意義でした。後輩学生の教職への熱意も感じることができました。この企画を通し教職のやりがいを感じてくれると嬉しいです。



ご指導いただいた先輩先生  
(左 多久和友紀恵先生、右 河井克典校長先生)

令和元年  
10月5日(土)

## 第13回 島根大学教育学部 ホームカミングデーにおでかけください!

年に1回、母校で充実した時間をすごしませんか。今年も学部・同窓会・同松江支部の共催で、右記の内容で計画しました。(詳細は、別紙案内状参照)(全学企画はありません。「島大会員」の企画として別途あります。)直前に大学見学の案内、ホームカミングデー終了後は懇親交流会を行います。見学、懇親交流会のみの参加も大歓迎です。

日時: 令和元年10月5日(土) 14時より  
場所: 島根大学教育学部 多目的教室Ⅱ  
テーマ: 「地域の力が人を育てる～新しい時代における多様な教育のありかた」

### 大学見学 ご案内します。

ご希望の方、前日までに電話・FAXで申込みください。当日、正門に13時集合。40分程度係員が、ご希望を伺いながら案内致します。

### 懇親交流会もぜひどうぞ。

- 17:30から、「炉端かば 松江学園通り店」(学園2-25-28、0852-31-8181)
- 会費 学生1,500円 一般2,500円 申し込み、問い合わせは事務局まで。

### 同窓会事務局からのお願い・連絡

- 同窓会費(年額2,000円)を納入してください。
  - ・各支部を通じて納入してください。
  - ・支部に所属されていない方は個人会員としてご加入ください。個人納入には郵便振替をご利用ください。
- 座番号: 01440-5-6975 加入者名: 島根大学教育学部同窓会
- ・終身会員(原則60歳以降)は一時金20,000円です。
- 「同窓会」開催の際は祝い金を送ります。お知らせください。(支部交流会、同期生会、専攻・研究室別など)
  - ・10人まで=5,000円 25人まで=7,000円 40人まで=10,000円 41人以上=20,000円
- 事務局に固定電話(FAX兼)が設置されています。TEL.0852-32-6297

### Leaf@同窓会の発行

新生入・卒業生向けの「ご入会歓迎特別号」(3月発行)と合わせ、年2回発行し、9月に全会員にお届けしています。

編集担当

大 給 玲 子  
坂 根 千 歳  
有 馬 毅 一 郎

# Leaf@同窓会

No.11

編集・発行

島根大学教育学部同窓会(本部事務室)

松江市西川津町1060 島根大学教育学部内(〒690-8504)

Eメール e-dousoukai@edu.shimane-u.ac.jp

http://www.suaa.shimane-u.ac.jp/edu/index.html

電話(新設) 0852-32-6297 (FAXも同)

## 同窓会は今

## 同窓会がかかえる危機

島根大学教育学部 同窓会 会長

有馬毅一郎



会員の皆様には同窓会の運営にお力添えをいただいていますこと、まずお礼申し上げます。

私たちの同窓会の現状や課題については、近年「同窓会誌」などでもお伝えし、皆様からご意見をいただきました。現在も、幹事会を中心に、同窓会の復興をめざし、組織と活動の検討を重ねているところです。

危機感の中心は、若い年齢層の方々の「組織離れ」と入会率低下に伴う、同窓会の「高齢化」と「先細り」です。

この現象は、同窓会に限らず、全ゆる組織・団体が平成時代後半に遭遇してきていることと言えそうです。新たな対応が緊急に必要になっています。

私たちの同窓会では、近年「同窓の絆」を強めようと、「支部活動の活性化」などを願ってきました。さらに、今、若い世代の方への同窓会意識の浸透を願った活動を強化しています。例えば、在学中の就職や研修の支援、事務局室を使った「ほっと一息カフェ」などの活動です。これは、「同窓会は母校の応援団」でもありたいとの理念の一端でもあります。

会員の皆様には、「同窓会の望ましい在り方」に向けて一層のご支援と、ご意見をいただきたく、心からお願い申し上げます。

## 同窓会のあり方、支部別に協議—こんな意見がありました

- 支部の活動として市教研の研修会の講師謝金をタイアップして支出している。会員の実感も得られ、タイアップ企画は同窓会費の有効活用としてよい。
- 支部会員の懇親会への助成を行っている。
- 近年同窓会としての活動がやりにくい現状がある。
- 会費を納入しても、個人のメリットがない等の声がある。年代によって意識が違うので、小さなことを重ねていくことで同窓会の意義が伝わっていけばよい。ゆるやかな人と人とのつながりができればよいのではないかと。



役員  
総会  
開か  
れる